令和8年産

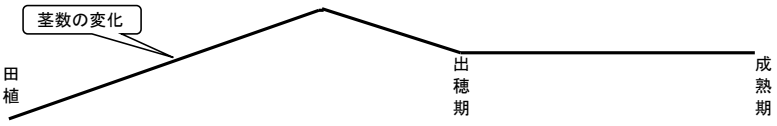
特別栽培米ヒノヒカリ暦

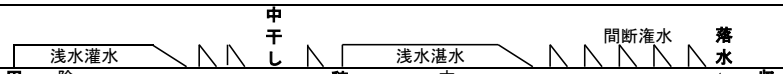
朝倉カントリーエレベーター利用組合
ＪＡ筑前あさくら東部営農センター

作業毎に日誌の記帳を！！

月旬	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
生育ステージ		育苗準備	育苗期間			活着期	有効分げつ期		無効分げつ期	穂の発育期間			登熟期					

※もみ枯細菌病対策(育苗期)
① 種子消毒の実施
② 播種量・催芽籾130g(1.1合)
③ 風通しの良い場所に並べる
④ 被覆資材を長期間かけない
⑤ 水をかけすぎない





主な管理作業：土づくり／播種／基肥施用／田植／除草剤散布／穂肥施用／本田防除／収穫／秋耕

玄米の充実を良くするため 落水は収穫の１週間前

育苗基準

※健苗育成と、病害の発生を防ぐ為、23日苗を目安とする。

1. 種子
- 全量毎年種子更新を行う。(栽培履歴証明、品種特性維持、病害虫予防)

2. 用土
- 10a当たりあさくら培土4袋を準備する。

3. 種子消毒
- テクリードCフロアブル200倍液とスミチオン乳剤1000倍液に24時間浸漬。
(水10ℓにテクリードCフロアブル50cc＋スミチオン乳剤10cc)

4. 浸種
- 芽立ちを揃えるため、浸種日数は充分にとる。
- 1日1回水替えし、1mm程度芽出しを行う。
- 水替え時に上下の種袋を入れ替える。(芽出しを揃えるため)
- 種子は播種前日の夕方にあげる。

5. 播種
- 播種量は催芽籾で1箱当たり130g(1.1合)を基準とする。

6. 平床育苗
- 覆土は十分行い、苗箱は日当たりが良く風通しの良い場所に並べ、被覆資材で被覆する。
- 土が乾いたら灌水する。
- 苗の長さが4～5cmになったら被覆資材を除去する。

7. 箱施薬

農薬名	使用時期	使用量	対象病害虫
防人箱粒剤	は種時(覆土前)～田植当日	1箱当り50g	いもち病 ウンカ類 コブノメイガ
ブーンゼクテラ箱粒剤			

※確実に1箱当たり50g施用しないと防除効果が劣る。

土づくり

分類	資材名	施用量 10a当たり	備考	
有機質	万能堆肥	2t	・腐植の増加 ・土壌通気性の向上、保水性の向上	
	麦わら	全量	・耕起前に硫安10kg/10a施用 ・間断かん水の励行	
土改剤	ミネラルG	200kg	・微量要素の供給	・けい酸の供給
	ケイカル		・石灰の供給	
	珪鉄		・鉄分の供給	

施肥基準

(kg/10a)

	肥料名	基肥	穂肥	N	P	K
慣行	大地のめぐみ(ケイフン)	120		10.4 (無機N3.8)	9.1	8.5
	ちくごのめぐみ444	15				
	スーパーユーキくん3号		35			
省力	大地のめぐみ(ケイフン)	60		10.1 (無機N3.5)	5.7	4.5
	有機エムコート355(100日)	55				

※省力の施肥体系では減収することがある。
※有機物・リン酸・カリ補給のため、発酵ケイフンを必ず施用する。
※野菜跡は、生育に応じて基肥の量を加減する。

除草剤使用基準

除草剤名		使用時期(田植後)	ヒエの葉齢
オイカゼZ	1キロ粒剤 フロアブル/ジャンボ	0～10日 5～10日	3.0葉期
カチドキZ	1キロ粒剤 フロアブル/楽粒	0～10日 3～10日	3.0葉期

※除草剤散布後は、1週間程度落水口を閉め、湛水状態を保つ。

病害虫防除基準

○基本防除（1回のみ）

時期	体系	農薬名		使用量(10a当たり)	対象病害虫
8月下旬(出穂直前)	粉剤	ダブルカットバリダトレボン粉剤3DL		4kg	いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類
	液剤	ノンブラスバリダフロアブル	混用	1000倍	いもち病、紋枯病
		スタークル液剤10		1000倍	ウンカ類、カメムシ類

耕種的防除基準

いもち病対策

1. 窒素過多とならないよう施肥基準を守る。
2. 土改剤は病害に対する抵抗力を強めるので、左表のいずれかを施用する。
3. 補植苗は不要になったら早急に処分する。

紋枯病対策

1. 窒素過多とならないよう施肥基準を守る。
2. 栽植密度は坪60株とし、植付け本数を3～4本とする。
※1株当たりの本数が多いと、紋枯病を助長し、倒伏しやすい。

カメムシ対策

(稲が出穂すると、水田へ侵入し穂を吸汁するので、斑点米の原因となる。)

1. 水田周辺の雑草管理を徹底し、カメムシの生息密度を下げる。
2. 畦草刈りは出穂2週間前までに終わらせ、出穂期以降は行わない。

ジャンボタニシ対策

資材名	使用量	対象病害虫
スクミンベイト3	2～8kg/10a	スクミリンゴガイ

※特別栽培農産物においても使用回数をカウントされない農薬です。

※スクミノンとの間違い注意

○病害虫対策の基本方針

特栽ヒノヒカリは病害虫の本田防除が
出穂直前の 1回のみ です！！

耕種的防除の徹底、土改剤施用で
硬い稲を作り、病害虫を防ぎましょう。

※肥料・農薬は令和8年1月21日時点の登録に基づき記載しています。